

『高等学校国語総合 古典編』(国総306)についてのシラバス案

科目 国語総合	単位数	4単位
	学科・学年・学級	

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
使用教科書・副教材等	『高等学校国語総合 古典編』(三省堂)

2 評価の観点の趣旨

a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

3 学習計画及び評価方法など

(1) 学習計画など

学期	学習のねらい 〔「学習指導要領」の指導事項〕	配当 時間	月	言語活動	教材	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	考查範囲	
第1学期	・音読することによって古典の言葉のリズムを感じ取る。 (指導事項Cア/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(7)イ(7))	1	4	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。 〔Cの(2)エ〕	古典の響き	関心・意欲・態度	音読することで、美しい言葉の響きを味わおうとする。	繰り返し音読することで、言葉の響きを味わおうとしている。	行動の観察	第1学期中間考査
						読む能力	それぞれの作品が描いているテーマを読み取る。	それぞれの作品が描いている情景や心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
						知識・理解	歴史的仮名遣いが現代仮名遣いと異なることを理解する。	表記と読みとに違いがあることを理解している。	記述の点検	
	・歴史的仮名遣いや古文の語彙・文法の基本を学ぶとともに描かれた人間像や和歌をめぐるやりとりを理解し、古文の世界に親しむ。 (指導事項Cイ/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(7)イ(1))	3	4	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。 〔Cの(2)エ〕	古文入門 児のそら寝 絵仏師良秀 大江山	関心・意欲・態度	歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取ろうとする。	歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取ろうとしている。	行動の観察	
						読む能力	歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取る。	歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
						知識・理解	歴史的仮名遣いと用言について理解する。	歴史的仮名遣いと用言について理解している。	記述の点検	
	・訓点の働きを理解し、漢文を訓読できるようにする。 (指導事項Cイ/言語活動イ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(7)イ(1))	3	5	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 〔Cの(2)イ〕	漢文入門	関心・意欲・態度	漢文を日本語として読む工夫とその意義を理解しようとする。	漢文を日本語として読む工夫とその意義を理解しようとしている。	行動の観察	
						読む能力	故事成語の意味を理解する。	用例としてあげられている故事成語の意味を理解している。	行動の分析 記述の確認	
						知識・理解	漢文訓読に必要な訓点のきまりを理解する。	漢文訓読に必要な訓点のきまりを理解している。	記述の点検	
	・訓点の働きを理解し、漢文を訓読できるようにする。また、故事成語の意味を把握する。 (指導事項Cイ/言語活動イ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(7)イ(1))	3	5	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 〔Cの(2)イ〕	故事成語 借虎威 蛇足 漁父之利 朝三暮四	関心・意欲・態度	日本においてもなじみのある故事成語について深く学ぼうとする。	日本においてもなじみのある故事成語について深く学ぼうとしている。	行動の観察	
						読む能力	文章の内容を正確に読み取る。	文章の内容を正確に読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
						知識・理解	訓読のきまりや句法について知識を深める。	訓読のきまりや句法について知識を深めている。	記述の点検	

	<p>・物語の展開を、語句や表現に即して理解するとともに、当時の習俗について学ぶ。</p> <p>(指導事項Cイ/言語活動イ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(7)(イ))</p>	2	6	<p>文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 [Cの(2)イ]</p>	竹取物語	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。</p>	<p>語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。</p>	<p>行動の観察</p>	第1学期期末考査
						<p>読む能力</p>	<p>文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。</p>	<p>語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。</p>	<p>行動の分析 記述の確認</p>	
						<p>知識・理解</p>	<p>文語のきまり、訓読のきまりなどを理解している。</p>	<p>古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。</p>	<p>記述の点検</p>	
	<p>・登場人物の心理を、状況や行動に即して理解し、歌の読解と鑑賞を通して歌物語の特徴を学ぶ。</p> <p>(指導事項Cウ/言語活動イ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(7)(イ))</p>	3	6	<p>文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 [Cの(2)イ]</p>	伊勢物語 芥川 東下り 筒井筒	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>登場人物の心理を読み取り、歌を通して歌物語の特徴を理解しようとする。</p>	<p>登場人物の心理を読み取り、歌を通して歌物語の特徴を理解しようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>	
						<p>読む能力</p>	<p>登場人物の心理を読み取り、歌を通して歌物語の特徴を理解する。</p>	<p>登場人物の心理を読み取り、歌を通して歌物語の特徴を理解している。</p>	<p>行動の分析 記述の確認</p>	
						<p>知識・理解</p>	<p>歌物語の特徴について理解する。</p>	<p>歌物語の特徴について理解している。</p>	<p>記述の点検</p>	
	<p>・朗読の工夫をしながら、情景と作者の心情の融合した境地を味わう。併せて漢詩の構成などについて理解する。</p> <p>(指導事項Cウ/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(7)(イ))</p>	3	7	<p>様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。 [Cの(2)エ]</p>	漢詩	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>日本でも愛好されてきた漢詩の名作に関心をもって味わおうとする。</p>	<p>日本でも愛好されてきた漢詩の名作に関心をもって味わおうとしている。</p>	<p>行動の観察</p>	
						<p>読む能力</p>	<p>それぞれの詩の表現している内容・情感を理解する。</p>	<p>それぞれの詩の表現している内容・情感を理解している。</p>	<p>行動の分析 記述の確認</p>	
						<p>知識・理解</p>	<p>絶句・律詩の基本的な決まりについて理解する。</p>	<p>絶句・律詩の基本的な決まりについて理解している。</p>	<p>記述の点検</p>	

【課題・提出物等】

- ① 授業で使用したプリントやワークシート
- ② 授業で作成したスピーチ原稿、ブックガイド、新聞投書
- ③ 相互評価カード
- ④ 授業ノート

【第1学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

学 期	学習のねらい [「学習指導要領」 の指導事項]	配 当 時 間	月	言語活動	教材	単元の目標		具体的な評価規準	評価方法	考 査 範 囲
2 学 期	<p>・筆者の人間観や自然観、美意識などを読み取り、その特色を理解するとともに、自分自身の考え方を深め、視野を広げる。</p> <p>(指導事項Cイ/言語活動イ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(7)(イ))</p>	3	9	<p>文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 [Cの(2)イ]</p>	徒然草	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとする。</p>	<p>内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>	第2学期中間考査
						<p>読む能力</p>	<p>内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深める。</p>	<p>内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めている。</p>	<p>行動の分析 記述の確認</p>	
						<p>知識・理解</p>	<p>基本的な助詞について理解する。</p>	<p>基本的な助詞について理解している。</p>	<p>記述の点検</p>	
	<p>・文学的意義を知り、表現の特色を学ぶとともに、当時の制度、風習や旅の様子、作者の心情を理解する。</p> <p>(指導事項Cウ/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(7)(イ))</p>	3	9	<p>様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。 [Cの(2)エ]</p>	土佐日記 門出 海賊の恐れ 忘れ貝 帰京	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解しようとする。</p>	<p>表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解しようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>	
						<p>読む能力</p>	<p>表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解する。</p>	<p>表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解している。</p>	<p>行動の分析 記述の確認</p>	
						<p>知識・理解</p>	<p>作品の文学的意義を理解する。</p>	<p>作品の文学的意義を理解している。</p>	<p>記述の点検</p>	

<p>・現代語訳しながらストーリーの展開を把握し、その過程で重要な句法を理解する。</p> <p>(指導事項Cウ/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(7)(イ))</p>	4	10	<p>様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。</p> <p>[Cの(2)エ]</p>	<p>史話 先従隗始 臥薪嘗胆 鶏鳴狗盗</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>著名な史話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする。</p>	<p>著名な史話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p>	<p>文章に描かれた人物、情景、心情などを話の展開に沿って読み味わう。</p>	<p>文章に描かれた人物、情景、心情などを話の展開に沿って読み味わおうとしている。</p>	<p>行動の分析 記述の確認</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>句法・語法を理解した上で、それぞれの話の歴史的背景や出典に関する基本的知識を確認する。</p>	<p>句法・語法を理解した上で、それぞれの話の歴史的背景や出典に関する基本的知識を確認している。</p>	<p>記述の点検</p>
<p>・朗読を通して語り物としての魅力を感じ、軍記物語の特徴を知るとともに、生死に直面した人間の行動を通して、人間とは何かを考える。</p> <p>(指導事項Cア/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(7)(イ))</p>	4	10	<p>様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。</p> <p>[Cの(2)エ]</p>	<p>平家物語 祇園精舎 富士川 木曾最期</p>	<p>意欲・態度</p>	<p>朗読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めようとする。</p>	<p>朗読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p>	<p>朗読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深める。</p>	<p>朗読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めている。</p>	<p>行動の分析 記述の確認</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>敬語の基本について理解する。</p>	<p>敬語の基本について理解している。</p>	<p>記述の点検</p>
<p>・孔子の言う「学」と「仁」とを理解し、これが孟子の「仁義」「学問」に展開した様相を把握する。</p> <p>(指導事項Cイ/言語活動イ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(7)(イ))</p>	3	11	<p>文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。</p> <p>[Cの(2)イ]</p>	<p>論語・孟子</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>孔子・孟子の主張の重要性について理解しようとする。</p>	<p>孔子・孟子の主張の重要性について理解しようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p>	<p>簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら内容を的確に理解する。</p>	<p>簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら内容を的確に理解している。</p>	<p>行動の分析 記述の確認</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>句法・語法を理解した上で、儒家の思想について要点を把握する。</p>	<p>句法・語法を理解した上で、儒家の思想について要点を把握している。</p>	<p>記述の点検</p>
<p>・和歌の基本を学び、その表現の特色や時代による変遷を知る。</p> <p>(指導事項Cウ/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(7)(イ))</p>	3	11	<p>様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。</p> <p>[Cの(2)エ]</p>	<p>万葉集 古今和歌集 新古今和歌集</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>和歌の響きを味わい、込められた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解しようとする。</p>	<p>和歌の響きを味わい、込められた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解しようとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p>	<p>和歌の響きを味わい、込められた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解する。</p>	<p>和歌の響きを味わい、込められた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解している。</p>	<p>行動の分析 記述の確認</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>和歌の特徴と表現技法について理解する。</p>	<p>和歌の特徴と表現技法について理解している。</p>	<p>記述の点検</p>
<p>・筆者の旅への思いや、旅先でのさまざまな体験や感動を読み味わうとともに、俳句・俳文について基本的なことがらを理解する。</p> <p>(指導事項Cウ/言語活動エ/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(7)(イ))</p>	2	12	<p>様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。</p> <p>[Cの(2)エ]</p>	<p>奥の細道 旅立ち 那須野 平泉 立石寺</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>筆者の思いや感動を読み取り、俳句を味わおうとする。</p>	<p>筆者の思いや感動を読み取り、俳句を味わおうとしている。</p>	<p>行動の観察</p>
					<p>読む能力</p>	<p>筆者の思いや感動を読み取り、俳句を味わう。</p>	<p>筆者の思いや感動を読み取り、俳句を味わっている。</p>	<p>行動の分析 記述の確認</p>
					<p>知識・理解</p>	<p>俳句の基本について理解する。</p>	<p>俳句の基本について理解している。</p>	<p>記述の点検</p>

第2学期期末考査

【課題・提出物など】

- ① 夏休みの課題
- ② 授業で使ったプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した手紙文・レポート
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第2学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

学 期	学習のねらい 〔「学習指導要領」 の指導事項〕	配 当 時 間	月	言語活動	教材	単元の目標		具体的な評価規準	評価方法	考 査 範 囲
						関心・ 意欲・ 態度	読む 能力			
第 3 学 期	・朗読に習熟し、 巧みな比喩とその 効用を味わいなが ら、筆者の意図を 把握する。 (指導事項Cイ/ 言語活動A/伝統 的な言語文化と国 語の特質に関する 事項ア(7)(イ))	2	1	文章を讀ん で脚本にし たり、古典 を現代の物 語に書き換 えたりする こと。 〔Cの(2)ア〕	雑説	関心・ 意欲・ 態度	漢文の名文を讀み味わおうとす る関心・姿勢を持つようとする。	漢文の名文を讀み味わおうとする 関心・姿勢を持つようとしている。	行動の観察	学 年 末 考 査
						読む 能力	巧みな比喩による論理的な展開 に注目しつつ、主張を理解する。	巧みな比喩による論理的な展開に 注目しつつ、主張を理解している。	行動の分析 記述の確認	
						知識・ 理解	句法・語法を理解した上で、韓 愈の主張とその思想史上の位置 について基本事項を把握する。	句法・語法を理解した上で、韓 愈の主張とその思想史上の位置につ いて基本事項を把握している。	記述の点検	
	・筆者の主張を理 解した上で分かり やすく説明すると ともに、文学史的 なことについて理 解する。 (指導事項Cイ/ 言語活動イ/伝統 的な言語文化と国 語の特質に関する 事項ア(7)(イ))	2	1	文字、音声、 画像などの メディアによ って表現さ れた情報を、 課題に応じ て読み取り、 取捨選択し てまとめるこ と。 〔Cの(2)イ〕	うひ山ぶみ	関心・ 意欲・ 態度	筆者の主張を讀み取り、それを 分かりやすく説明しようとする。	筆者の主張を讀み取り、それを分 かりやすく説明しようとしている。	行動の観察	
						読む 能力	筆者の主張を讀み取り、それを 分かりやすく説明する。	筆者の主張を讀み取り、それを分 かりやすく説明している。	行動の分析 記述の確認	
						知識・ 理解	筆者に関する文学史的なことが らについて理解する。	筆者に関する文学史的なことが らについて理解している。	記述の点検	
	・論を展開に即し て理解した上で分 かりやすく説明す るとともに、俳論 について理解す る。 (指導事項Cイ/ 言語活動イ/伝統 的な言語文化と国 語の特質に関する 事項ア(7)(イ))	2	2	文字、音声、 画像などの メディアによ って表現さ れた情報を、 課題に応じ て読み取り、 取捨選択し てまとめるこ と。 〔Cの(2)イ〕	三冊子	関心・ 意欲・ 態度	論理的な内容を理解し、分かり やすく説明しようとする。	論理的な内容を理解し、分かりや すく説明しようとしている。	行動の観察	
						読む 能力	論理的な内容を理解し、分かり やすく説明する。	論理的な内容を理解し、分かりや すく説明している。	行動の分析 記述の確認	
						知識・ 理解	俳論について理解する。	俳論について理解している。	記述の点検	
	・桃源郷の状況 と、そこに到達で きる人間の条件と を理解する。 (指導事項Cイ/ 言語活動A/伝統 的な言語文化と国 語の特質に関する 事項ア(7)(イ))	3	2	文章を讀ん で脚本にし たり、古典 を現代の物 語に書き換 えたりする こと。 〔Cの(2)ア〕	桃花源記	関心・ 意欲・ 態度	「桃源郷」という言葉の淵源と しての話に関心を持つようとする。	「桃源郷」という言葉の淵源とし ての話に関心を持つようしてい る。	行動の観察	
						読む 能力	文章に描かれた人物、情景、心 情などを話の展開に沿って讀み 味わう。	文章に描かれた人物、情景、心 情などを話の展開に沿って讀み 味わっている。	行動の分析 記述の確認	
						知識・ 理解	句法・語法を理解した上で、背 後にある思想について基本的な 知識を得る。	句法・語法を理解した上で、背後 にある思想について基本的な知識 を得ている。	記述の点検	
・伊勢物語「筒井 筒」と能「井筒」 を比較しつつ讀 み、作品を多角的 にとらえるととも に、能について基 本的なことがら を理解する。 (指導事項Cオ/ 言語活動イ/伝統 的な言語文化と国 語の特質に関する 事項ア(7))	2	2	文字、音声、 画像などの メディアによ って表現さ れた情報を、 課題に応じ て読み取り、 取捨選択し てまとめるこ と。 〔Cの(2)イ〕	井筒	関心・ 意欲・ 態度	伊勢物語と比較しつつ讀むこと で、作品を多角的にとらえよう とする。	伊勢物語と比較しつつ讀むこと で、作品を多角的にとらえよう としている。	行動の観察		
					読む 能力	伊勢物語と比較しつつ讀むこと で、作品を多角的にとらえる。	伊勢物語と比較しつつ讀むこと で、作品を多角的にとらえている。	行動の分析 記述の確認		
					知識・ 理解	能の基本について理解する。	能の基本について理解している。	記述の点検		
・鑑賞文を通して 能「井筒」への理 解を深めるととも に、我が国の文化 についての自分 なりの考えを育 てる。 (指導事項Cオ/ 言語活動エ/伝統 的な言語文化と国 語の特質に関する 事項ア(7))	2	3	様々な文章 を讀み比べ、 内容や表現 の仕方につ いて、感想 を述べたり 批評する文 章を書いたり すること。 〔Cの(2)エ〕	人待つ女一井筒 一	関心・ 意欲・ 態度	鑑賞文を踏まえて自身の鑑賞を 深め、我が国の文化について自 分なりに考えようとする。	鑑賞文を踏まえて自身の鑑賞を深 め、我が国の文化について自分 なりに考えようとしている。	行動の観察		
					読む 能力	鑑賞文を踏まえて自身の鑑賞を 深め、我が国の文化について自 分なりに考える。	鑑賞文を踏まえて自身の鑑賞を深 め、我が国の文化について自分 なりに考えている。	行動の分析 記述の確認		
					知識・ 理解	能と古典の関係について理解す る。	能と古典の関係について理解して いる。	記述の点検		

【課題・提出物など】

- ① 冬休みの課題
- ② 授業で使用したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した創作文
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第3学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

【年間の学習状況の評定方法】

「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

確かな学力を身につけるためのアドバイス	・「国語総合」は、小学校・中学校の国語の授業で学んできたことを受け継ぎ、その内容を発展させた総合的な科目です。国語の表現力、理解力を身につける努力に加え、それらの能力を基盤として、人と人の中での、互いの立場や考えを尊重しながら、互いに伝え合う力を高めることをこころがけてください。また、古典をはじめとする様々な言語文化に目を向け、それらを享受して、国語を愛し育てる態度を培ってください。 ・目的や課題に応じて、様々な情報を収集し活用して、進んで表現するよう努めてください。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理しましょう。
授業を受けるにあたって守ってほしい事項	・授業中に感じた疑問などは、その場で質問してください。 ・課題・提出物等は期限内に必ず提出してください。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うよう努めてください。

(2) 担当者からのメッセージ

「国語総合」では、言葉をとらえて現実をみつめ、主体的に生き、伝え合う力を高めて、二十一世紀における新たな日本を切り開くことができる国語の力を育成することを第一のねらいとしています。受け身ではなく自ら学ぶ姿勢をもって授業に参加し、自己を表現すると同時に相手の表現を理解することをこころがけてください。また、授業のみならず、日常生活の中でも積極的に言葉にかかわり、幅広い視野、人間性を身につける努力を続けてください。